

117. 2月分

会社経営の目的は

2月4日

1月11日に第23期経営計画発表会を行ないました。お客様、社員で合計350名の方々に出席して頂きました。去年より50名多く、直近に申し込まれた方はお断りせざるを得ませんでした。基調講演で 鍵山秀三郎「一日一話」の編集者の 亀井民治氏のお話を聞き、清掃の意味を学ばました。 そのご縁で 鍵山相談役にお礼の手紙を差し上げたところゆざゆざお手紙をいただきました。手紙の中で当社のお客様に対する姿勢が素晴らしいとほめていただきました。当社の経営方針と日頃の清掃活動によるものと 鍵山相談役が石碇信一氏と書いてくださいました。大変光栄です。

亀井さんのご縁で PHP研究所総括部長 榊原様が事務所に来られました。当社は、お客様が見えられたので、全員立って挨拶しております。何故立つかというと、座ったまま挨拶したので、お客様に「ゆざゆざ来ていたが、いて有り難い」という気持ちを持たないか、です。そのため、腰より高いものは置かないようにしています。榊原さんは、多くの優良企業を訪問してきたが、全員立って挨拶してくれたのは二度目だと話されました。私達は当然のごとくやっていることがすばらしいことだとほめて頂き、かえって恐縮しました。

会社経営の目的は、利益を極大化することによって（例えば大企業がリストラを（創）入額をカットすると発表すると株価があがり、経営者の経営手腕が高いように報道されています。これは正しいので（例えば、リストラされた社員、強制的に売値を下げられた取引先は大変な思いをしていると思います。私は、利益は目的ではなく、コストを考へます。社員を守るためのコストで、事業を存続するためのコストです。内部蓄積の少ない会社は不況、事故、天災等により簡単につぶれて（まいます。社員を守るために利益を出し、それを現金で蓄積することが必要です。

では、人件費はコストではなく、人件費はコストではありません。会社の目的です。人が幸せになるために会社があり、経営理念に書かれています。多くの人を採用し、多くの人と共に働くことが目的です。そのために社員の働きに合った適正な給料を払えることは経営者の責任であり、責任であると思っています。しかし、ただ人件費を多くするのではなく、少しでも高い給料を払いながら、労働分配率を下げる工夫が必要で、全社員が創造性を発揮して付加価値を高める仕事をすることです。創造性は忍耐によって身に付きます。基本は環境整備だと思っています。挨拶、礼儀、整理、整頓、清掃、清潔感、作法ですがこれを徹底させるには、多くの忍耐と時間が必要です。しかし会社は人が育つと他の企業には真似できない差別化がなされ、人を感動させてくれます。会社は人を大事にする、会社が人が大事にされ、共に成長できるのではないかと信じています。今は、まだまだ社員満足度は低いと思いますが、将来必ず社員の幸せ、お客様満足、社会貢献の出来る立派な会社になります。
古岡 士 満